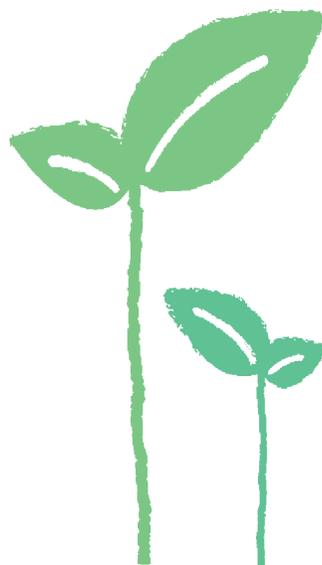


# ECO ACTION 21

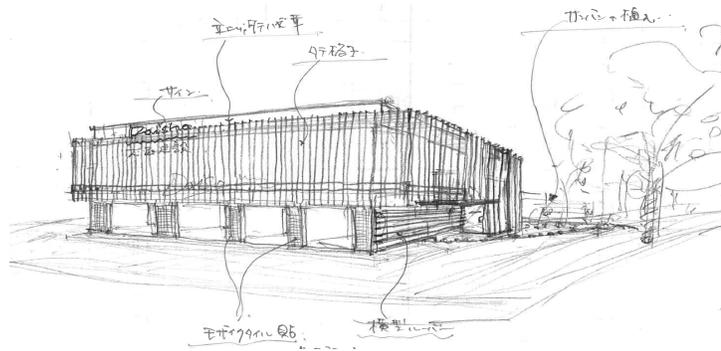
エコアクション21  
環境経営レポート(2024年度)  
株式会社大匠建設  
H・P <http://dai-sho.net/>  
2025年10月1日発行  
対象期間:2024年5月~2025年4月





# 目次

1	組織の概要	.....	P 2
2	認証・登録の対象範囲	.....	P 2
3	実施体制	.....	P 3
4	環境経営方針	.....	P 4
5	環境経営目標	.....	P 5
6	環境経営計画	.....	P 6
7	環境経営計画の取組結果と評価	.....	P 7
8	環境経営目標の実績	.....	P 10
9	次年度以降の環境経営目標	.....	P 11
10	次年度の環境経営計画	.....	P 12
11	蓄電池 (EVパワーステーション)	.....	P 13
12	環境関連法規等の遵守状況確認 評価確認と違反、訴訟等の有無	.....	P 14
13	代表者による全体評価と見直し	.....	P 15



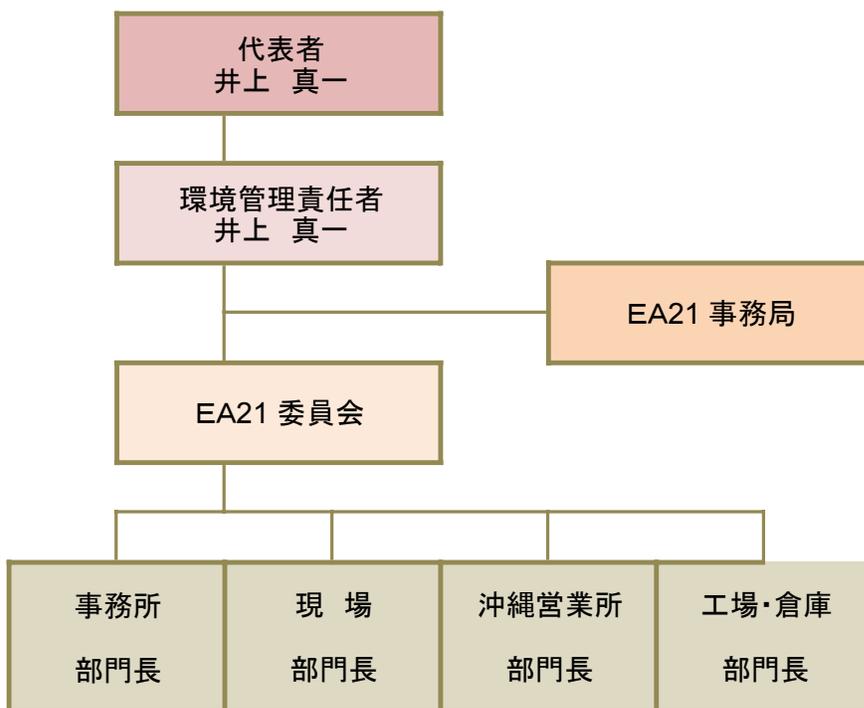
## 1 組織の概要

事業所名	株式会社大匠建設																				
代表者名	代表取締役 井上 真一																				
所在地	本社	福岡県那珂川市恵子1-47																			
	工場	福岡県那珂川市別所477																			
	倉庫	福岡県那珂川市前田514-3、515-9																			
	沖縄営業所	沖縄県那覇市字松川448-15																			
環境管理責任者	井上 真一 TEL 092-953-3063 FAX 092-953-3164 Eメールアドレス info@dai-sho.net																				
事業の内容	一般建築物の設計及び施工、木工製品の製造 (許可番号) 国土交通大臣 許可(特-6) 第 27430 号 (建設業の種類) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>建築工事業</td> <td>大工工事業</td> <td>左官工事業</td> </tr> <tr> <td>とび・土工工事業</td> <td>石工事業</td> <td>屋根工事業</td> </tr> <tr> <td>鋼構造物工事業</td> <td>鉄筋工事業</td> <td>板金工事業</td> </tr> <tr> <td>ガラス工事業</td> <td>塗装工事業</td> <td>防水工事業</td> </tr> <tr> <td>内装仕上工事業</td> <td>熱絶縁工事業</td> <td>建具工事業</td> </tr> <tr> <td>タイル・れんが・ブロック工事業</td> <td></td> <td>解体工事業</td> </tr> </table>			建築工事業	大工工事業	左官工事業	とび・土工工事業	石工事業	屋根工事業	鋼構造物工事業	鉄筋工事業	板金工事業	ガラス工事業	塗装工事業	防水工事業	内装仕上工事業	熱絶縁工事業	建具工事業	タイル・れんが・ブロック工事業		解体工事業
建築工事業	大工工事業	左官工事業																			
とび・土工工事業	石工事業	屋根工事業																			
鋼構造物工事業	鉄筋工事業	板金工事業																			
ガラス工事業	塗装工事業	防水工事業																			
内装仕上工事業	熱絶縁工事業	建具工事業																			
タイル・れんが・ブロック工事業		解体工事業																			
事業の規模	総売上額	1,310,438(千円)(2024年度)																			
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>従業員数</th> <th>延床面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本社</td> <td>23名</td> <td>303㎡</td> </tr> <tr> <td>工場</td> <td>6名</td> <td>808㎡</td> </tr> <tr> <td>倉庫</td> <td>無人</td> <td>693㎡</td> </tr> <tr> <td>沖縄営業所</td> <td>1名</td> <td>191㎡</td> </tr> </tbody> </table>			従業員数	延床面積	本社	23名	303㎡	工場	6名	808㎡	倉庫	無人	693㎡	沖縄営業所	1名	191㎡			
	従業員数	延床面積																			
本社	23名	303㎡																			
工場	6名	808㎡																			
倉庫	無人	693㎡																			
沖縄営業所	1名	191㎡																			
事業年度	5月 ~ 翌年4月																				

## 2 認証・登録の対象範囲

事業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事業</li> <li>・大工工事業</li> <li>・内装仕上工事業</li> <li>・木工製品の製造</li> </ul>	対象事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社</li> <li>・工場</li> <li>・倉庫</li> <li>・沖縄営業所</li> </ul>
------	--	-------	---

### 3 実施体制



#### 役割分担

所 属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。</li> <li>・環境方針を作成、見直し、従業員に周知する。</li> <li>・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。</li> <li>・環境への取組みを実施するための資源(人、もの、金)を準備する。</li> <li>・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。</li> <li>・環境目標、環境活動計画を作成する。</li> <li>・3か月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認、評価する。</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3か月に1回開催し、環境目標及び環境活動計画の実施状況を審議する。</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類及び基礎データの作成、維持、集計、管理を行う。</li> <li>・社外からの環境情報の収集と伝達を行う。</li> </ul>
部 門 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する。</li> <li>・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を報告する。</li> <li>・法規制等を遵守する。</li> <li>・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。</li> </ul>
全 従 業 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する。</li> <li>・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加する。</li> </ul>

## 4 環境経営方針



〈企業理念・行動指針〉

『自然環境を守り未来を創る』

株式会社大匠建設は、建設工事を通じて、社会に貢献します。

地球環境の保全と汚染の予防を経営の重点課題と認識し、

環境関連法規を遵守します。

常に私達が出来るエコアクションを考え、

地球にやさしい活動を継続的に行います。

**環境に影響を与える以下の項目に継続的に取り組みます。**

- ① 二酸化炭素の排出を削減、省資源・省エネルギーを推進します。
- ② 廃棄物を分別し、資源の有効利用、リサイクルの促進に努めます。
- ③ 節水に努め、井戸水の有効活用をします。
- ④ 化学物質を適正に管理します。
- ⑤ ゼロカーボンシティを応援します。
- ⑥ 材料の無駄をなくし、ゴミを減らします。
- ⑦ 施工方法の改善に努め、DX化を推進します。
- ⑧ CLT工法の認知度アップの為に普及活動をし、コストダウンを研究する。
- ⑨ 地消地産が可能な街づくりを推進します。

全従業員に会議、社内掲示などで環境経営方針を周知します。

制定日 2013年9月18日 改定日 2022年3月1日

株式会社大匠建設 代表取締役 井上真一



## 5 環境経営目標

環境方針を踏まえ、当社の事業活動における具体的な環境目標は以下の項目を設定。

※ 二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は電気事業者別排出係数(19年度実績)を使用。

※ 基準値は2020年度の実績値。

環境目標(削減目標値)			基準値 (2020年度)	削減目標値			
				2022年度	2023年度	2024年度	
項目	場所	単位		すべての項目で-5%を達成する			
①	二酸化炭素排出量	全社合計	kg-CO2	33,661.2	31,978.1		
	電気使用量	本社	kWh	28,133.0	26,726.4		
		工場	kWh	42,451.0	40,328.5		
		沖縄営業所	kWh	9,007.0	8,556.7		
	ガソリン使用量	現場・工場	L	1,892.1	1,797.5		
	軽油使用量	現場・工場	L	6,657.6	6,324.7		
	灯油使用量	工場	L	1,505.2	1,429.9		
	液化石油ガス使用量	本社	kg	36.2	34.4		
		工場	kg	40.8	38.8		
沖縄営業所		kg	191.5	181.9			
②	一般廃棄物排出量削減	本社	kg	1,165.0	1,106.8		
	産業廃棄物排出量の把握	工場・現場	-	-	産業廃棄物排出量を毎年把握する		
	産業廃棄物リサイクル率向上	工場・現場	%	79.0	75%以上を目標		
③	水使用量	本社	m <sup>3</sup>	44.0	41.8		
		沖縄営業所	m <sup>3</sup>	159.0	151.1		
④	化学物質の適正管理	工場	-	-	使用製品含有化学物質適正管理(SDS把握)		
⑤	ゼロカーボンシティの応援	全社	-	-	太陽光パネルの設置・電気自動車使用の推進 イベント等の積極的な参加		
⑥	使用材料ロスの削減	現場・工場	-	-	地域貢献活動の内容と結果を記載		
⑦	施工方法の改善	現場・工場	-	-	作業工程、材料の把握 発注ミスをなくす		
⑧	CLT工法の普及活動	全社	-	-	技能競技大会(年1回) 座学(月1回)の開催 BIMを使つての施工方法の共有		
⑨	地産地産な街づくり	全社	-	-	那珂川市産材料の使用推進		

## 6 環境経営計画

### ① 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
電気使用量削減	全体	エアコンの設定温度管理・昼休み時の消灯	←			→
軽油 使用量削減	全体	遠方の電気自動車のシェア	←			→
		急発進、急ブレーキをしない	←			→

### ② 廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
廃棄物の分別 源の有効利用 リサイクルの促進	全体	古紙・段ボール回収サービスの利用	←			→
	工場	混合廃棄物を分別してリユース・リサイクルする	←			→
	工場・現場	残材を在庫管理し、再利用する	←			→

### ③ 水使用量の削減

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
節水活動	全体	日常的に節水する、井戸水の有効活用	←			→

### ④ 化学物質の適正管理

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
化学物質の適正管理	工場・現場	環境にやさしく最低限の化学物質量の物を選ぶ。	←			→
		建設現場等での有害物質の拡散・流出防止を徹底する。	←			→
		保管場所の整理整頓、適正量の厳守	←			→

### ⑤ カーボンゼロシティの応援

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
カーボンゼロシティの応援	全体	電気自動車の推進活動 太陽光パネル・蓄電池設置推進活動	←			→
	全体	イベント等への積極的な参加	←			→

### ⑥ 材料ロスの削減

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
材料ロスの削減	全体	作業工程、材料の把握、発注ミスをなくす。	←			→

### ⑦ 施工方法の改善

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
施工方法の改善 DX化の推進	現場・工場	技を磨くための競技大会の開催(6月) 建築を学ぶための座学の開催(月一回) ※再開未定	○ -	-	-	-
	現場・工場	DX化の推進 (BIMを使っの施工方法の共有)	←			→

### ⑧ CLT工法の認知度アップ

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
CLT工法の認知度アップ	現場・工場	認知度アップの為の普及活動 CLT工法のパッケージ化	←			→

### ⑨ 地産地産な街づくりを応援

取組目標	活動項目		5～7月	8～10月	11～1月	2～4月
地産地産な街づくりを応援	現場・工場	那珂川市産材の使用	←			→



## 8 環境経営目標実績

環境経営目標(削減目標値)				2024年度 (2024年5月～2025年4月)			
				削減目標 -5%	実績	達成率	
項目	場所	単位					
①	二酸化炭素排出量	全社合計	kg-CO2	31,978.1	39,895.4	80.2 %	☹️
	電気使用量	事務所	kWh	26,726.4	27,403.0	97.5 %	☹️
		工場	kWh	40,328.5	39,889.0	101.1 %	😊
		沖縄営業所	kWh	8,556.7	10,363.0	82.6 %	☹️
		建設現場	kWh	※			
	ガソリン使用量	現場・工場	L	1,797.5	6,842.8	26.3 %	☹️
	軽油使用量	現場・工場・沖縄	L	6,324.7	4,450.9	142.1 %	😊
	灯油使用量	工場	L	1,429.9	2,101.0	68.1 %	☹️
	液化石油ガス使用量	事務所	kg	34.4	30.0	114.6 %	😊
		工場	kg	38.8	42.6	91.0 %	☹️
沖縄営業所		kg	181.9	137.9	131.9 %	😊	
②	一般廃棄物排出量削減	事務所	kg	1,106.8	752.6	147.1 %	😊
	産業廃棄物排出量の把握	工場・現場	t	実績値の把握	136.8	-	
	産業廃棄物リサイクル率の向上	工場・現場	%	75.0	84.8	113.1 %	😊
③	水使用量	事務所	m³	41.8	26.0	160.8 %	😊
		沖縄営業所	m³	151.1	99.0	152.6 %	😊
④	化学物質の適正管理	工場	-	使用製品含有化学物質適正管理(SDS把握)			
⑤	ゼロカーボンシティの応援	全体	-	太陽光パネルの設置・電気自動車使用の推進イベント等の積極的な参加			
⑥	使用材料ロスの削減	現場・工場	-	作業工程、材料の把握 発注ミスをなくす			
⑦	施工方法の改善	現場・工場	-	技能競技大会(年1回)・座学(月1回)の開催 BIMを使つての施工方法の共有			
⑧	CLT工法の普及活動	全体	-	CLT工法の認知度アップの為の普及活動 CLT工法のパッケージ化			
⑨	地消地産な街づくり	全体	-	那珂川市産材料の使用推進			

※ 建設現場の電気使用量は把握のみ、目標設定はしていない。

## 9 次年度以降の環境経営目標

環境方針を踏まえ、当社の事業活動における具体的な環境目標は以下の項目を設定。

※ 二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は電気事業者別排出係数(2023年度実績)を使用。

※ 基準値は2021年度～2023年度、3年間の平均値。

環境目標(削減目標値)				基準値	削減目標値		
					2025年度	2026年度	2027年度
項目	場所	単位		-3%	-4%	-5%	
①	二酸化炭素排出量	全社合計	kg-CO2	22,309.1	21,639.8	21,416.7	21,193.6
	電気使用量	本社	kWh	31,046.3	30,114.9	29,804.4	29,494.0
		工場	kWh	40,898.7	39,671.7	39,262.8	38,853.8
	ガソリン使用量	現場・工場	L	3,281.2	3,182.8	3,150.0	3,117.1
	軽油使用量	現場・工場	L	3,925.5	3,807.7	3,768.5	3,729.2
	灯油使用量	工場	L	1,739.0	1,686.8	1,669.4	1,652.1
	液化石油ガス使用量	本社	kg	35.9	34.8	34.5	34.1
工場		kg	43.7	42.4	42.0	41.5	
②	一般廃棄物排出量削減	本社	kg	863.9	838.0	829.3	820.7
	産業廃棄物排出量の把握	工場・現場	-	-	産業廃棄物排出量を毎年把握する		
	産業廃棄物リサイクル率向上	工場・現場	%	84.9	75%以上を目標		
③	水使用量	本社	m <sup>3</sup>	38.3	37.2	36.8	36.4
④	化学物質の適正管理	工場	-	-	使用製品含有化学物質適正管理(SDS把握)		
⑤	ゼロカーボンシティの応援	全社	-	-	太陽光パネルの設置・電気自動車使用の推進イベント等の積極的な参加		
⑥	使用材料ロスの削減	現場・工場	-	-	地域貢献活動の内容と結果を記載		
⑦	施工方法の改善	現場・工場	-	-	作業工程、材料の把握 発注ミスをなくす		
⑧	CLT工法の普及活動	全社	-	-	技能競技大会(年1回) 座学(月1回)の開催 BIMを使つての施工方法の共有		
⑨	地消地産な街づくり	全社	-	-	那珂川市産材料の使用推進		

## 10 次年度の取組計画

( 環境目標は P-5参照 )

### ① 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
電気使用量削減	全体	エアコンの設定温度管理・昼休み時の消灯	←			→
ガソリン・軽油 使用量削減	全体	遠方の電気自動車のシェア	←			→
		急発進、急ブレーキをしない	←			→

### ② 廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
廃棄物の分別 源の有効利用 リサイクルの促進	全体	古紙・段ボール回収サービスの利用	←			→
	工場	混合廃棄物を分別してリユース・リサイクルする	←			→
	工場・現場	残材を在庫管理し、再利用する	←			→

### ③ 水使用量の削減

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
節水活動	全体	日常的に節水する、井戸水の有効活用	←			→

### ④ 化学物質の適正管理

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
化学物質の適正管理	工場・現場	環境にやさしく最低限の化学物質量の物を選ぶ。	←			→
		建設現場等での有害物質の拡散・流出防止を徹底する。	←			→
		保管場所の整理整頓、適正量の厳守	←			→

### ⑤ カーボンゼロシティの応援

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
カーボンゼロシティの応援	全体	電気自動車の推進活動 太陽光パネル・蓄電池設置推進活動	←			→
	全体	イベント等への積極的な参加	←			→

### ⑥ 材料ロスの削減

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
材料ロスの削減	全体	作業工程、材料の把握、発注ミスをなくす。	←			→

### ⑦ 施工方法の改善

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
施工方法の改善 DX化の推進	現場・工場	技を磨くための競技大会の開催(6月) 建築を学ぶための座学の開催(月一回) ※再開未定	○ -	-	-	-
	現場・工場	DX化の推進 (BIMを使つての施工方法の共有)	←			→

### ⑧ CLT工法の認知度アップ

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
CLT工法の認知度アップ	現場・工場	認知度アップの為の普及活動 CLT工法のパッケージ化	←			→

### ⑨ 地消地産な街づくりを応援

取組目標	活動項目		5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
地消地産な街づくりを応援	現場・工場	那珂川市産材の使用	←			→

## 11 蓄電池(EVパワーステーション)

蓄電池(EVパワーステーション)設置しました。

弊社は電気自動車「走る蓄電池」が15台あります。普段は電気自動車の充電に使用していますが、災害時などの停電に備えることができました。

これで、「停電しらずの事務所」になりました。

ほかに...

- ・耐震性、耐火性を備えたCLT工法
- ・複層硝子に飛散防止フィルム
- ・太陽光パネル
- ・100%再生エネルギー
- ・照明はすべてLED

なので、「最強の事務所」になったのではないのでしょうか。

再エネ100宣言  
RE Action



もしもの時は...

電気自動車から蓄電池を通して事務所に給電できます。

## 12 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

### 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりである。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	特定建設資材廃棄物建築4品目（コンクリート塊及び鉄筋、 コンクリート塊、廃棄木材、アスファルト・コンクリート塊） の分別解体と再資源化
家電リサイクル法	廃棄の際の適正な引渡、処理料金支払
フロン排出抑制法	簡易定期点検、フロン類の引渡しと費用負担
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
大気汚染防止法	解体、改修工事に伴う「特定建設材料（石綿等）」の防除作業 特定粉じん等排出作業
消防法	消防用設備等の設置
労働安全衛生法	健康診断の実施

2024年度は上記の関連環境法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 13 代表者による全体評価と見直しの結果

### 《 実施体制 》

- ・ 沖縄営業所常駐社員1名の退職により、体制の変更を検討中。

### 《 環境経営方針 》

- ・ 万遍なく全ての項目に取り組むことができた。
- ・ 環境への配慮にとどまらず、社会の変化に対応し、持続可能な価値を作るという視点が重要、方針をアップデートさせていかなければならないと考えてます。

### 《 環境経営目標 》

- ・ 電気自動車の活用やシェアもできている、分別等もできているがほとんどの項目の数値が前年度を上回ってしまった、売上高の増加や遠方の現場が多く、数値での目標達成が難しい。あまり意味を感じる事が出来なくなっている。違う形での目標設定を考えなければならない。

### 《 環境経営活動計画 》

- ・ 1年を通して講演会、フォーラム等に出席し、報告、発表、意見交換等ができた。

2025年9月1日  
株式会社大匠建設  
代表取締役 井上真一

